



戦略的創造研究推進事業
情報通信科学・イノベーション基盤創出
(CRONOS)

提案書記載における留意事項

2024年 5月



科学を支え、未来へつなぐ

科学技術振興機構

未来創造研究開発推進部

様式1

2024 様式 CRONOS

本様式以外を使用されている場合は不受理となります

2024 年度募集 CRONOS 研究開発提案書

領域はいずれか1つを選択

グランドチャレンジはプルダウンより1つ選択

応募する領域	☐ 中尾領域(主として情報通信分野) ☐ 川原領域(主として情報処理分野) ※どちらか1つを選択してください。
グランドチャレンジ	アイテムを選択してください。 ※グランドチャレンジをプルダウンで選択してください。 ※グランドチャレンジ詳細は募集要項をご確認ください。 ※GC00を選択した場合は次ページに名称・概要をご記載ください。
技術カテゴリー (複数選択可)	☐ TC1:通信サービス ☐ TC2:情報通信基盤 ☐ TC3:ネットワークセキュリ ☐ TC4:デバイス・通信方式 ☐ TC5:情報サービス ☐ TC6:情報処理基盤 ☐ TC7:情報セキュリティ ☐ TC8:デバイス・計算方式 ※提案内容において、オリジナリティが高い、または研究開発の重 リーを選択してください(複数選択可)。 ※技術カテゴリー詳細は募集要項をご確認ください。
研究開発課題名	※20文字程度
研究開発期間	2024年10月～ 年 月(年間)
希望する研究開発費 (直接経費) ※基盤研究の費用のみ	全期間での基盤研究費総額 (千円)
GC00(その他)の 名称・概要	・GC00(その他)を選択した場合 名称: ※50文字以内で記載してください。 概要: ※どのような常識に対する挑戦であるか、また、どのような社会問題に対してインパクトをもたら すのか等、概要を記載してください(500文字以内) ※募集要項巻末に掲載されている常識・挑戦テーマを参考にしてください。

選択肢がプルダウンされます

アイテムを選択してください。

アイテムを選択してください。

GC00: その他(提案者が設定) ※詳細は次ページ

GC01: 人やAIを拡張し新体験を共創可能なコミュニケーションサービス
 GC02: ニーズや技術の変化に追従し再構成が可能なネットワークアーキテクチャ
 GC03: 地球規模のカパレージを実現する垂直統合ネットワークの構築
 GC04: 攻撃者有利の根本課題を解決するサイバーフィジカルセキュリティ
 GC05: 容量・遅延・電力性能の超飛躍的向上を可能とするデバイス・通信方式
 GC06: 環境に溶け込むセンサからのマルチモーダル情報センシング
 GC07: 膨大化し続ける情報・意味空間を扱う情報アーキテクチャ
 GC08: 目的関数や制約条件が変化する事象やシステムを解析・最適化する新理論の創出
 GC09: あらゆる情報を永久に記録・活用しデータ主権を守りつつ情報流通を刷新するトラストフレームワーク
 GC10: 新しい材料・回路・プロセッサの創出と設計革新を支えるデバイスインフォマティクス

技術カテゴリーは、提案内容の中心的なものを選択(複数選択可)

研究開発期間は最長で2030年3月までの5.5年間です

研究費は全期間にかかる基盤研究の総額のみ記載
 単位は、「千円」(総額の上限174,000千円)

※表紙は2ページ以内で記載ください。

GC00を選択した場合は、
 必ず、グランドチャレンジの
 名称および概要を記載

- ・ 提案書全体で3MB以内
- ・ 全ページ、フォントサイズは10.5pt以上
- ・ 青色の斜字体の注意書きをよく確認して
 ください(提出時は削除してください)
- ・ e-Radと提案書双方に記載欄がある事項
 について記載内容が異なる場合は、
 提案書の情報を正として対応します

様式2

2024 様式 CRONOS

研究開発提案の要旨

※移行研究を含めた研究開発提案の要旨を1ページ以内で記載ください。

※e-Rad 基本情報「研究概要」部分には、「研究開発提案書を参照」とご記入ください。

- 移行研究を含めた研究開発提案の要旨を1ページ以内で記載してください
- 必要に応じて図表等を記載いただいても構いません

e-Radにおける「研究目的」および「研究概要」の欄には、「研究開発提案書を参照」と記載してください
（「研究目的」および「研究概要」の「アップロード」は使用しないでください）

※e-Rad操作の詳細は、e-Rad入カマニュアルをご確認ください

(<https://www.jst.go.jp/kisoken/cronos/dl/2024/e-rad.pdf>)

e-Rad画面

The screenshot displays the e-Rad interface with the following elements:

- Navigation Bar:** Includes tabs for 'Basic Information', 'Research History', 'Research Summary', 'Research Content', and 'Research Status'.
- Basic Information Section:**
 - Research Period (西暦):** Includes fields for 'Start Year', 'End Year', and 'Fiscal Year'.
 - Research Category (主):** Includes a search bar and a 'Clear' button.
 - Keywords:** Includes a search bar and a 'Clear' button.
 - Research Summary (要):** A large text area with a red box around it containing the text '研究開発提案書を参照'.
 - Research Purpose (目):** A large text area with a red box around it containing the text '研究開発提案書を参照'.
- File Upload Section:** Below the text areas, there are two rows for uploading files. Each row has a table with columns: 'Name', 'Format', 'Size', and 'File Name'. The first row is for 'Research Purpose File' and the second is for 'Research Summary File'. Both rows have a red box around the 'Upload' button, with a red arrow pointing to it and the text '使用しない' (Do not use).

2024 様式 CRONOS

必要に応じて**図表等**を記載いただいても構いません

研究開発課題の全体構想

※募集要項第2章「2.9 選考の観点」及び募集要項第6章「募集対象となる領域およびグランドチャレンジ」もあわせて必ずご確認ください。

※全体で6ページ以内にしてください。

1. 選択したグランドチャレンジに対する挑戦

※選択した(あるいは記載した)グランドチャレンジに関連する、既存の技術常識と、その常識への挑戦を記載してください。(500字以内)

選択(または記載)したグランドチャレンジにおいて、**既存の技術常識と、それに対する本提案での挑戦(どのような常識打破を行うのか)**を分かりやすく記載(500字以内)

2. (基盤研究+移行研究)研究開発期間内での達成目標

※基盤研究と移行研究全体を含めて、グランドチャレンジを見据えて研究開発期間内で達成を目指す目標を記載してください。(500字以内)

移行研究を含めた研究開発課題全体において、研究開発期間内に達成を目指す目標をわかりやすく記載(500字以内)

3. 基盤研究

3-1. (基盤研究) 研究開発計画

※前項で定めた目標を達成するための研究のアプローチ・進め方を記載してください。

基盤研究における具体的な研究開発計画を記載してください

3-2. (基盤研究) 研究開発の独自性・優位性

※以下について判断できるように記載ください。

- ・ 従来技術の延長ではない挑戦的な技術内容であり、科学技術の飛躍的な発展があること。
- ・ 国内外の研究開発動向を踏まえ、提案が優位性・独自性を有すること。

基盤研究では、**国際的にもトップレベルの技術ブレークスルーを起こす成果創出**を目指します。その観点で、提案内容における**独自性・優位性**を分かりやすく記載してください

3-3. (基盤研究) 研究開発実施の準備状況

※本構想を推進する基盤となる、以下の点について具体的に記述してください。

- ・ 研究開発代表者自身(および必要に応じて、主たる共同研究者・研究参加者)のこれまでの研究の経緯と成果
- ・ その他の予備的な知見やデータ等(存在する場合)

研究開発実施の準備状況について、構想の実現性を分かりやすく記載してください

※本提案と関連する準備状況を記入ください。

4. 移行研究

4-1. (移行研究) 研究開発実施に向けた構想(任意)

※どのように概念実証を実施しようと考えているのか、構想を記載してください。想定で構いません。
※移行研究の開始時期の想定についても記載してください。

4-2. (移行研究) 想定する社会インパクト(任意)

※技術の確立によって、誰にどう役立つのか想定を記載してください。

5. その他

・研究データ等のマネジメント方針

※研究データの管理・利活用に関する取り組みを記載してください。

・知的財産権、オープンソース化、標準化等に関する取り組み

※特に上記について重要な取り組みを記載してください。

※その他重要な取り組みがあれば記載してください。

移行研究における具体的な構想等の記載は、提案段階では任意です

「5. その他」は必須項目ですので、青字の斜字体に従い、記載してください

様式3-1は、全体で6ページ以内厳守です

… 様式3-1は、ここまでで図表含め6ページを超えないこと …

基盤研究のみについて記載してください

2024 様式 CRONOS

基盤研究の体制及びスケジュール

※全体で2ページ以内にしてください。

1. 基盤研究の実施体制

※基盤研究の実施にあたって、研究開発開始時に想定している体制を記載してください。

グループ名	研究開発代表者 または主たる共 同研究者の氏名	研究開発代表者または 主たる共同研究者の 所属機関・部署・役職名	研究開発題目(20字程度)
○○グループ ※○○(研究開発代 表者の姓)グループ	○○ ○○	○○大学大学院○○学系研究 科 教授	○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○の開 発 ※20 字程度でグループの研究開発 題目を記述してください。この記載 は、様式 4-1,4-2 の「基盤研究の研 究開発題目」にも用いてください。
△△グループ ※△△(主たる共同 研究者(1)の姓)グ ループ ※様式 4-2 以降の 「共同研究グループ 1」に対応			

＜研究開発体制の記載に関する注意点＞

- ・ 原則としてJSTは研究開発題目ごとに研究開発代表者または主たる共同研究者の所属機関と委託研究契約を締結し、研究開発代表者と主たる共同研究者が研究開発費の配分を受けられます。
- ・ 研究開発費を執行する必要がある共同研究者は、主たる共同研究者として研究開発体制に加えてください。

- ・ **JSTから配賦される研究予算を執行し研究を実施する全ての研究機関を記載**してください（JSTと各研究機関との間で委託研究契約を締結します）
- ・ 研究の**再委託はできません**

- 20字程度で各グループの研究開発題目を記載してください
- この記載は、様式4-1、様式4-2の「基盤研究の研究開発題目」にも用いてください

2. 基盤研究スケジュール

※具体的なスケジュールとマイルストーンについて、線表で示してください。

※下記の例を参考に研究の主なスケジュールを記入してください(例は研究期間が5.5年)。

※研究実施項目中に記載するグループ名は前項「1. 基盤研究の実施体制」で記載したグループ名としてください。

※研究項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールや分担者が分かるように記入してください。

※矢印の位置、長さ、太さは自由に変更してかまいません。

研究実施項目	2024 年度 (6ヶ月)	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度 (12ヶ月)
1.						
・ (グループ)						
・ (グループ)						
2.						
・ (グループ)						
・ (グループ)						
3.						
・ (グループ)						
・ (グループ)						
・ (グループ)						

具体的なスケジュール、マイルストーン、想定される成果等について、線表で示してください

グループ名は、様式3-2
「1. 基盤研究の実施体制」
で記載したグループ名
としてください

必要に応じて行を追加
してください

2024 様式 CRONOS

(様式 4-1)

研究開発実施体制 1

(研究開発代表者グループの研究実施体制)

※全体で2ページ以内にしてください。

研究開発代表者グループ(〇〇グループ)

研究開発 代表者氏名	研究機関名 ¹⁾	役職	エフォート ²⁾
〇〇 〇〇	〇〇大学 大学院〇〇研究科 〇〇専攻	教授	40%
研究者番号 ³⁾ : 12345678 研究機関コード ⁴⁾ : 1234567890			
研究開発 参加者氏名 ^{5,6)}	所属(上記と同じ場合には省略)	役職	
〇〇 〇〇	e-Radの「2.研究組織情報の登録」には、「研究開発参加者」の入力は不要です	教授	
〇〇 〇〇		准教授	
〇〇 〇〇		講師	

現在の所属機関と、採択後研究開発を実施する研究機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください

エフォートはe-Radと数値を一致させてください

○ 基盤研究実施項目及び概要

・基盤研究の研究開発題目

※様式 3-2 の「基盤研究の実施体制」の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。

・基盤研究の実施項目

※様式 3-2 の「基盤研究スケジュール」に対応する研究実施項目名を記入してください。

・基盤研究の目的および内容

※研究開発代表者グループが担当する研究開発の概要を簡潔に記入してください。

・構想における当該グループの役割

※自らの研究開発構想を実現するために研究開発代表者グループが果たす役割等を記入してください。

・特記事項

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間を記入ください。

※高度研究人材育成に向けての取り組み等ありましたら記入ください。

研究開発代表者のグループの実施項目等について、青字の斜字体に従い、記載してください

本プログラムの趣旨の1つに革新的な構想力を有した研究人材育成に取り組むことがあります。プロジェクト実施において研究人材育成に向けた取り組み等があれば記載してください

研究開発実施体制 2

(共同研究グループの研究実施体制)

※研究開発代表者の所属機関内あるいは他の研究機関等に所属する共同研究グループが必要な場合、グループごとに記載ください。JSTと委託研究契約を締結し、研究開発費の配分を行う予定の共同研究機関は全て記載ください。

※共同研究グループの数に上限はありませんが、研究開発代表者の研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。研究チームに共同研究グループを加えることは、必須ではありません。

※研究開発開始時点の共同研究グループ分を記載してください。

※1つの共同研究グループあたり2ページ以内としてください。

共同研究グループごとに「**主たる共同研究者**」を記載してください（委託研究契約の研究担当者に当たります）

共同研究グループ(1) (〇〇グループ)

主たる共同研究者 氏名	共同研究機関名 ¹⁾	役職	エフォート ²⁾
〇〇 〇〇	〇〇研究所 〇〇部門 〇〇チーム	チームリ ーダー	10%
研究者番号 ³⁾ : 12345678 研究機関コード ⁴⁾ : 1234567890			

主たる共同研究者にも e-Rad番号の記載が必要です

研究開発参加者 氏名 ^{5,6)}	所属(上記)	
〇〇 〇〇		主席研究員
〇〇 〇〇		研究員
2名雇用予定		特別研究員

共同研究グループの実施項目等について、
青字の斜字体に従い、記載してください

○ 基盤研究実施項目及び概要

・基盤研究の研究開発題目

※様式 3-2 の「基盤研究の実施体制」の表の記載と同一の研究開発題目名を記入してください。

・基盤研究の実施項目

※様式 3-2 の「基盤研究スケジュール」に対応する研究実施項目名を記入してください。

・基盤研究の目的および内容

※本共同研究グループが担当する研究の概要を簡潔に記入してください。

・構想における当該グループの役割

※研究開発代表者の研究開発構想を実現するために本共同研究グループが必要不可欠であることの理由、
位置づけ等を記入してください。

・特記事項

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由
を記入ください。

※高度研究人材育成に向けての取り組み等ありましたら記入ください。

原則として、海外の研究機関への研究費配分はありません。ただし、共同研究グループとして海外の研究機関でなければ研究実施困難である場合は、以下の3点について必ず記載してください

・(海外グループのみ) 当該研究者・研究機関でなければ研究実施が困難である理由:

※ CRONOS の提案にあたっては、海外の研究機関に所属する研究者に JST からの研究費の提供はできません。すなわち、海外の研究機関に所属する研究者を主たる共同研究者にすることは原則できません。海外の研究機関を含む研究チーム構成を希望される場合には、本項に海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記載してください。(書類選考において PO の承認をとります。)

- ・ 研究構想を実現する上での必要性
- ・ 海外研究機関でなければ研究実施が困難となる理由(設備・環境等)

・(海外グループのみ) 契約締結に至らなかった場合の当該グループとの連携案:

※ JST からの研究費提供を想定している提案において、契約締結に至らなかった場合の当該グループとの連携案を本項に記載してください。

・(海外グループが含まれる場合のみ) 安全保障貿易管理規程整備の状況:

※ 研究代表者グループ及び国内の共同研究グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について記載してください。

研究開発予算計画(基盤研究)

基盤研究のみについて記載してください

※基盤研究の費用のみ記載してください(移行研究の費用は記載しないでください)。移行研究の費用は採択された場合に限り、プログラム内募集を行います。

※直接経費の年間額は上限 27,000 千円を目途として記載してください。

※上記の費用に加えて、初期環境整備等に必要の費用として初年度(2024 年度)は 8,000 千円、2 年度目は 4,000 千円を上限に追加で申請することが可能です。

※従って、初年度の上限は 35,000 千円、2 年目の上限は 31,000 千円、3 年目以降の上限は 27,000 千円となります。総額の上限は 174,000 千円です。

※面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発予算計画を提出していただきます。

※研究開発費は、本プログラム全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題の評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。

**初年度(2024年度) 35,000千円、
2年目(2025年度) 31,000千円、
3年目以降は27,000千円**
を上限値に計画を検討してください

1. チーム全体の研究開発費計画(費目別)

(単位:千円)

	初年度 (2024.10～ 2025.3)	2年度 (2025.4～ 2026.3)	3年度 (2026.4～ 2027.3)	4年度 (2027.4～ 2028.3)	5年度 (2028.4～ 2029.3)	6年度 (2029.4～ 2030.3)	合計 (千円)
設備備品費							
消耗品費							
旅費							
人件費・謝金 (人件費を支出する 研究員の数)	()	()	()	()	()	()	
その他							
直接経費 計							

単位は千円です

基盤研究の全期間にかかる
直接経費合計値の上限は
174,000千円です

2. グループ別の研究開発費計画

(単位:千円)

	初年度 (2024.10～ 2025.3)	2年度 (2025.4～ 2026.3)	3年度 (2026.4～ 2027.3)	4年度 (2027.4～ 2028.3)	5年度 (2028.4～ 2029.3)	6年度 (2029.4～ 2030.3)	合計 (千円)
〇〇グループ							
△△グループ							
□□グループ							
直接経費 計							

単位は千円です

それぞれの合計値が、
「1.チーム全体の研究開発費
計画（費目別）」と
一致することを確認してください

○ 購入予定の主要設備(1 件 10,000 千円以上)

※新たに導入する予定の研究設備・装置等について記載ください。

設備・装置名	概算価格 (千円)	設置する 研究機関名	導入年度	用途

○ 特記事項

※何か補足すべき事項があれば記載ください。

業績リスト・過去の実績

1. 研究開発代表者

※研究開発提案者が本研究開発提案を遂行するための手がかりを有していること、並びに研究チームとして研究開発全体に責務を負い、研究チームを牽引・マネジメントする能力があることに基づき、研究実績に基づき説明してください。

※学術論文、著書、国際会議のプロシーディングス、主要な国際会議の招待講演、受賞、特許、ライセンス、起業、データセット、ソフトウェア、標準化、過去の研究代表の実績そのほか提案者の研究分野や提案内容に関連する実績や成果を記載してください。提案内容との関連性が高いもの、近年のものを優先的に記載してください。

※実績・成果の重要性、提案者の役割等について簡潔な説明を加えてください。事実に基づき、できるだけ客観的、定量的な説明となるようにしてください(JIF や h-index 等の記載を求めるものではありません)。

※学術論文の場合は論文名、著者名(全著者を記載し提案者に下線)、掲載誌名、巻号や頁等、発表年(西暦)、著書の場合はその書誌情報など、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。著者は、T.Gijyutsu 等と略記して構いません。

※プレプリントは発表年の後に(プレプリント)と記入ください。

※特許は出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日を記載してください。

※10 件以内かつ 3 ページ以内としてください。

- 青字の斜字体に従い、記載してください
- 研究開発代表者について、**10件以内※**
かつ3ページ以内で記載してください

※学術論文、著書、・・・など、過去の研究代表の実績等の合計件数が10個まで

2024 様式 CRONOS

2. 主たる共同研究者

※主たる共同研究者は、全員で、合計で10件以内かつ2ページ以内としてください。

※実績の記載方法は「1.研究開発代表者」と同様にしてください。

主たる共同研究者については、**全員で、合計10件以内かつ2ページ以内**で記載してください

他制度での助成等の有無

研究開発代表者: ○○ ○○

資金制度名 もしくは 研究費名(配分 機関名)	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2)〃(2025年度予定) (3)〃(2024年度予定) (4)〃(2023年度実績)	2024 年度 エフォート (%)
CRONOS (本提案)	申請		2024.10 — 2030.3	代表	(1) 174,000 千円 (2) 31,000 千円 (3) 35,000 千円 (4) —	40
科学研究費補助 金 基盤研究(S) (JSPS)	受給	××による◇ ◇の創成 (○○○○)	2020.4 — 2025.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20
共同研究費 (○○株式会社)	受給	××による◇ ◇の解析 (○○○○)	2023.10 — 2025.9	代表	(1) 20,000 千円 (2) 7,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) 5,000 千円	10
戦略的創造研究 推進事業 CREST (JST)	申請	××による◇ ◇の高機能 化 (○○○○)	2024.10 — 2030.3	分担	(1) 20,000 千円 (2) 4,000 千円 (3) 5,000 千円 (4) —	—

エフォートはe-Radおよび様式4-1
の数値と一致させてください

CRONOSを1つ目に、その他は本人
受給研究費(期間全体)が多い
順に記載してください

CRONOS以外の申請中・申請予
定の助成等(受給状況に「申請」と
記載のもの)のエフォートは記載し
ないでください

- ・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載ください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載ください。
- ・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」と記入ください。
- ・「資金制度名」もしくは「研究費名」は、国内の競争的研究費以外の場合、資金を配分している機関名も記載ください。
- ・「役割」は、代表又は分担等を記載ください。
- ・「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載ください。
- ・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)を記載ください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、CRONOS のみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載ください。CRONOS のエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して 100%を超えないようにしてください。
- ・必要に応じて行を増減してください。

主たる共同研究者(1):△△ △△

主たる共同研究者ごとに作成してください

エフォートはe-Radおよび様式4-2の数値と一致させてください

資金制度名 もしくは 研究費名(配分 機関名)	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体) (2)〃(2025年度予定) (3)〃(2024年度予定) (4)〃(2023年度実績)	2024 年度 エフォート (%)
CRONOS (本提案)	申請		2024.10 — 2030.3	分担	(1) 174,000 千円 (2) 31,000 千円 (3) 35,000 千円 (4) —	40
科学研究費補助 金 基盤研究(S) (JSPS)	受給	××による◇ ◇の創成 (○○○○)	2020.4 — 2025.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20
共同研究費 (○○株式会社)	受給	××による◇ ◇の解析 (○○○○)	2023.10 — 2025.9	代表	(1) 20,000 千円 (2) 7,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) 5,000 千円	10
戦略的創造研究 推進事業 CREST (JST)	申請	××による◇ ◇の高機能 化 (○○○○)	2024.10 — 2030.3	分担	(1) 20,000 千円 (2) 4,000 千円 (3) 5,000 千円 (4) —	—

特記事項

※利害関係及び利益相反の定義は、募集要項第2章「2.8.2 利益相反マネジメントの実施」をご確認ください。

※領域アドバイザーリストは CRONOS の HP をご確認ください。

領域アドバイザーリストは、ホームページでご確認ください

1. 評価者との利害関係の有無

(1) 研究開発代表者と評価者(プログラムオフィサー・領域アドバイザー)との利害関係の有無

(ア) プログラムオフィサーとの利害関係: ☐有 ☐無

理由(利害関係がある場合):

(例)〇〇プロジェクト(20XX 年~20XX 年)にて共同研究を実施しており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

(イ) 領域アドバイザーとの利害関係: ☐有 ☐無

利害関係にある領域アドバイザー名:△△ △△

理由(利害関係がある場合):

(例)□□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

POおよび領域アドバイザーとの利害関係がある場合は、その内容を具体的に記載してください

(2) 主たる共同研究者と評価者(プログラムオフィサー・領域アドバイザー)との利害関係の有無

(a)主たる共同研究者(1):〇〇 〇〇(〇〇大学)

(ア) プログラムオフィサーとの利害関係: ☐有 ☐無

理由(利害関係がある場合):

(例)〇〇プロジェクト(20XX 年~20XX 年)にて共同研究を実施しており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

(イ) 領域アドバイザーとの利害関係: ☐有 ☐無

利害関係にある領域アドバイザー名:△△ △△

理由(利害関係がある場合):

(例)□□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

(b)主たる共同研究者(2):△△ △△(△△大学)

(ア)プログラムオフィサー(評価者)との利害関係: ☐有 ☐無

理由(利害関係がある場合):

(例)〇〇プロジェクト(20XX年~20XX年)にて共同研究を実施しており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

(イ)領域アドバイザーとの利害関係: ☐有 ☐無

利害関係にある領域アドバイザー名:△△ △△

理由(利害関係がある場合):

(例)□□プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、(d)に該当する。

2. 研究開発代表者に関係する機関(研究開発代表者等の研究成果を基に設立した機関等)に所属する、主たる共同研究者の有無

研究開発代表者に関係する機関: ☐有 ☐無

当該機関の名称(主たる共同研究者名): 株式会社〇〇(科学太郎)

理由(ある場合):

(記載例)研究開発代表者の研究成果を基に設立した機関であり、2.8.2(2)に定める要件のうち a.に該当する。

3. JSTの出資先企業の研究グループ参画の有無

JSTの出資先企業の参画: ☐有 ☐無

当該機関の名称(研究開発代表者名): 株式会社〇〇(科学太郎)

当該機関の名称(主たる共同研究者名): 株式会社〇〇(科学太郎)

4. (該当者のみ)研究提案者のエフォートに関する特記事項

※研究開発提案者が特別の任務等(特定の学内・社内業務等)に仕事時間(エフォート)を要する事情などあれば記載してください。

5. その他特記事項

※選考に関わる者について懸念点等ある場合は具体的に記載して下さい。

※その他異動予定等

募集要項「2.8.2利益相反マネジメントの実施」の「(2)研究開発提案者の利益相反マネジメント」を参照し、該当がある場合は具体的に記載してください

JSTの出資公表については、下記ウェブサイトを確認してください
(<https://www.jst.go.jp/entre/news.html>)

異動予定等ある場合は、こちらに記載してください

提出時には、このページは削除してください

提出前確認シート(提出時には削除すること)

主な確認ポイント	参照箇所	チェック欄
e-Rad に研究者登録が済んでいるか(研究開発代表者だけでなく、主たる共同研究者も)	募集要項「第 5 章」	☐
研究倫理教育に関するプログラムを修了したか	募集要項「第 4 章 4.1」	☐

○ 提出期限について

締切間際は e-Rad のシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いします。

○ 各様式について

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備(ページ数の超過、査読を困難とする文字化け等)がある場合には受理いたしませんので、ご注意ください。また、提出の際は PDF 形式へ変換してください。

提案書の漏れや不備などがある場合は不受理といたしますのでご注意ください

提出時には、PDF化の上、e-Radにアップロードしてください

	項目	主な確認ポイント	チェック欄
	e-Rad へのデータ入力	記載漏れがないか。提案書は 3MB 以内を目途に PDF 化しているか。	☐
様式 1	研究開発提案書表紙	記載漏れがないか。PDF に変換された状態で 2 ページ以内か。	☐
様式 2	研究開発提案の要旨	PDF に変換された状態で、1 ページ以内か。 10.5 ポイント以上の文字で記載されているか。	☐
様式 3-1	研究開発課題の全体構想	PDF に変換された状態で、6 ページ以内か。 10.5 ポイント以上の文字で記載されているか。	☐
様式 3-2	基盤研究の体制及びスケジュール	PDF に変換された状態で、2 ページ以内か。	☐
様式 4-1	研究開発実施体制 1	記載漏れがないか。2 ページ以内か。	☐
様式 4-2	研究開発実施体制 2	記載漏れがないか。共同研究グループ 1 チームあたり 2 ページ以内か。	☐
様式 5	研究開発予算計画(基盤研究)	合計が様式 1 の研究費総額と合致しているか。	☐
様式 6-1	業績リスト・過去の実績(研究開発代表者)	PDF に変換された状態で、3 ページ以内か。 記入要領の指示に従っているか。	☐
様式 6-2	業績リスト・過去の実績(主たる共同研究者)	PDF に変換された状態で、2 ページ以内か。 記入要領の指示に従っているか。	☐
様式 7	他制度での助成等の有無	記載漏れ(特に「エフォート」)がないか。	☐
様式 8	特記事項	記載漏れ(特に評価者との利害関係)がないか。	☐